



COLUMN

鎌倉の猫事情 第八十九話

先日、去年亡くなった父の初盆の法要の為、実家に帰った私は、自宅で見慣れぬ猫と対面しました。もともと家には、ミルクホールの先代のシュガーによく似た三毛猫が暮らしていました。この猫は野良猫上りの少々気の弱いくところのある雌猫です。始め来た頃にはもう相当の年の猫かと思いましたが、長く住んでいるうちに、毛の艶もよくなり、体重も増え、うつむき加減だった目線も、人とも少しは対等に目を合わせるようになってきて、若返ってきたので、年齢がよくわからなくなってきました。しかし、家に来てから十年以上経つのですから十歳以上であることは確かです。丈夫な猫で、病気も怪我もなく、家族の皆に囲まれる満足いく暮らしを手に入れていたのです。



ところが、今年になって家人たちは、自分達で相談してもう一匹子猫を飼うことを決めてしまったのです。かの猫にすれば、突然の理不尽きわまりない決定だったでしょう。子猫というものは、大抵無遠慮で、警戒心もなく、怖いもの知らずと決まっています。しかもこの新入り猫は毛並みこそ和猫風のさば柄ですが、体つきは豹のように締まってしなやかで、手足もすらりとして、丸顔でどこなくちんまりとした体つきの日本の猫とはあきらかに違って見えます。どうやら外国種の血族のようです。それもこれも、かの猫にすれば、不可思議極まりなく、また、どういう経緯でこの家に来ることになったにせよ、世間の冷たい仕打ちなど知らぬ、道理も義理もわきまぬ子猫の存在など、認められるわけもなく・・・といった心の底の苛立ちを押さえ込む古参猫の想いなど、おかまいなしに、子猫は、まるでとびつき

の遊び相手を見つけたとばかりに、嬉しそうに古参猫のお尻に着いて廻るのです。鼻に皺をよせて、フウーッと言われようが、口を耳まで広げて、シャーッと言われようが、怖がる様子も無くひたすら着いてまわっているのです。気の毒にかの古参猫、それでもガマンにガマンを重ねて大人の振る舞いを保って、本気で飛び掛るような様子はありせん。そのうち、この2匹がふとすれ違う場面がありました。すると、驚いたことに、一瞬でしたが、古参猫の方から、鼻を子猫の鼻にくっつけたのです。その後又追いかける子猫から体をするりとかわしてどこかへ消えましたが。どうやら、同居2ヶ月にして、第一段階を越えることができたようです。グーニーとスウィービーの出会いの頃そのままでした。

十年前の、初めての鼻と鼻のくっつけ合いから、グーニーとスウィービーの仲良しも始まっているのです。

——to be continued



Café

カフェの話 No.11
レッドシューズ 4

1981年12月5日にオープンした cafe&barレッドシューズは、開店と同時に伝説の店となりました。金曜の夜には246号線の西麻布の高架下の地下室の店に訪れる高級車がずらりと並び、暗かった通りを明るく照らしました。たった1軒の店が、街さえも変えてしまうという光景を目の当たりに見て、信じられないような思いでしたが、その反響は、2〜3ヶ月のうちに日本中に広がっていききました。奇抜な造りと風神・雷神の絵、赤と金の配色、退廃的な客層・・・そこに、群がった人達は、都会の享楽の刺激を次々と求める人達でした。店・メニュー・サービス、全てが「カフェ」とはかけ離れたものであるにも関わらず、cafe&barレッドシューズは、カフェの新しい形態として一世を風靡したのです。多くの雑誌や流通新聞にまで取り上げられ、レッドシューズのオーナーの名づけた、カフェ・バーと、その新しい形態が広がっていったのです。私達の当時のボスも流通新聞の一面に顔写真が掲載され、事務所には、全国の飲食店経営者からデザインの相談や依頼を打診する電話が入るといふ騒ぎでした。ですが、私達は、レッドシューズは、非常に特異な店だとい

うことがよく分かっていました。当時風俗の中心は六本木でした。そこから程近く未だ誰も目をつけていない暗い通りの地下室に、最も華やかで、享乐的で、退廃の彩りをほどこした店が、レッドシューズでした。それは、レッドシューズのオーナー以外には造り得ない店で、また他の誰をもつてもオペレーション不可能な店でした。それだけにその空間の煌めきは広く、強く発していったのでしょう。伝説にふさわしい空間として存在しましたが、だからこそ、社会現象と言えるような影響を与えるものとは、考え難かったのです。結局、カフェのオーナー達の取り入れたものは、自由に発想する店造りであり、何より、たった1軒の店が、実現しうる「夢」だったのでしょう。激動の70年代が遠くなり、まだ日本がバブル景気に湧く前の、どこかまだ、「何かが、誰かが、世の中を変える」という期待があった、穏やかな時代の出来事でした。





Bar Time

DINNER SET

好評のミルクホールのディナーセット
魚料理と肉料理を、お好みで・・・

オードブル サラダ
メイン ディッシュ
パンorライス ¥2200～
デザート
コーヒー or 紅茶



KAMAKURA

場所の記憶 No.39

ミルクホールのルーツ No.25

この町に住み、この町で毎日店を開け商売をして暮らす見慣れた鎌倉の町並みも、私が初めて鎌倉駅に降りた日のことを振り返ると随分景色が変わったものだと思います。町の移り変わりを見続けてもう20数年ですから早いものです。20数年前ふとしたきっかけで鎌倉に住み始めた私の暮らしは、それまでと一変していました。私の人生が大きく変化して、その頃は不思議な経験も多かったのです。私たちの結婚式の日、私の実姉の舅である大原さんが祝いに駆けつけて下さいました。この方は

その日から夫となったマスターの叔父と一緒に伊豆の韮山から来られたのです。大原さんの家は磯見の母の実家のすぐ近くにあり、大原さんと叔父は共に韮山郷土史研究で協力するなど大変親しい間柄だったのです。大原さんは、県立韮山高校の先生でもあり、マスターの従兄弟達は、代々この大原先生に習っていたということでした。厳しい叔父と、温厚な顔立ちの大原さん、披露宴で並んで座ったお二人の姿を一段高いところから、不思議な思いで眺めていたのを昨日の日のように思い出します。その後叔父と大原さんには大変お世話になりました。叔父は厳しい外見と違い心優しいお百姓さんでした。私に田舎と韮山の事を教えて下さった方達です。次号へ

LIVE 満月の夜

ミルクホール特別ライブ

琵琶と尺八の夕べ

10/2 Fri.

19:00～

日本古来の侘しい音色と
JAZZの魂が
ミルクホールで出会いました。

満月の夜の幻想に

目を閉じ、

耳を傾けて

お聴きください・・・

琵琶・馬場鶴生

語り・パーカッション他

尺八・榎本秀水

フルート・テナーサックス・唄

ゲスト 語り

東の宮美智子

9/19

sat. by HALF MOON

19:30～

琢磨 仁
琢磨 啓子

HALF MOONの音楽は

愛と平和を歌います。

ライブチャージは頂いておりません。

普段と同様にミルクホールのライブを、お酒と
おいしいお料理でお楽しみ下さい。



HISTORY



Information

ミルクホールタイムス 総集編 ¥1800

「鎌倉ミルクホールタイムス」No.001 No.100

ミルクホールタイムスを1976年の創刊号より、100号まで
人気連載中の「鎌倉の猫事情」を第一話より掲載いたしています。

ミルクホールタイムス定期購読募集

年間購読料 ¥1500

〒248-0006

鎌倉市小町 2-3-8

PHONE 0467-22-1179

FAX 05034882872

mail info@milkhall.co.jp





きもの市

古布・古裂
伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

9月の蚤の市のテーマは、きものです

ミルクホールにて
朝11時 OPEN!

9/26 Sat. 27 Sun.

和の小もの
帯 20% off

きもの
30% off

帯締め

コーディネート最後の
引き締めるのは帯締めです。
買いやすい価格で揃えました。

¥800より



半衿・帯揚げ

昔の着物をほどいて絹の半衿に
仕立てました。
着物のおしゃれのポイントは半衿です。
同じ着物も、半衿を変えるだけで、
別の着物のよう生まれ変わります。
自分の個性に合わせたコーディネ
ートで、楽しみませんか。

- ★無地の半衿 ¥500より
- ★銘仙・絞りなど ¥800より
- ★帯揚各種 ¥700より

帯

- 名古屋帯 ¥2000より
- 昼夜帯 ¥2800より
- 半幅帯 ¥1800より

和の小もの

- ★和装ショール
- ★アンティーク簪
- ★下駄・ビーズバッグ

着物・アンティーク古着

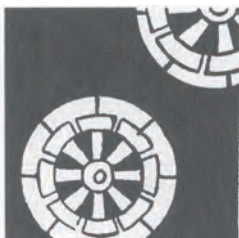
アンティークの秋冬着物新入荷!

大正・昭和初期に大流行した斬新なデザインの銘仙やお召し
の着物が入荷しました。

その他、小紋や大島紬など、昔の風合いの着物を多数揃えて
います。着物は新調するととても高価なものですから、何枚も
仕立てることは難しいもの。買いやすい古着をお試し下さい。

- | | | | |
|------|---------|------|----------|
| 久留米緋 | ¥7800より | 銘仙着物 | ¥6500より |
| お召し | ¥6800より | 大島紬 | ¥15000より |

銘仙羽織
大島羽織付き
男物羽織
長襦袢各種
とんぴコート



2 げんじぐるま
のに使う良縁が、きも
帯に使う良縁が、あま
り出ない。

古布・古裂

日本の古い着物を丁寧に解いて
布地にしました。
柄の見やすい巻物にしています。
ご希望の長さ等、お申し付け下さい。

反物

1m 約1000円

端布組み合わせ
¥300より

和洋家具

- ★★イギリス製テーブル
- ★★大正時代ガラス水屋 2段
- ★★カウンターテーブル ミシン脚
- ★★格子建具・蔵戸
- ★明治時代衝立・昭和初期衝立
- ★大正・昭和のガラスケース各種
- ★★明治～昭和文机各種
- ★裁縫台各種

ANTIQUE

- ★★★大正色絵碗・皿・向付入荷
- ★★★明治・大正時代小筆筒各種
- ★★★中国漢時代陶板・瓦など

古陶磁

- ★★古伊万里染付鉢
- ★★弥生時代壺
- ★★織部長皿 5枚組
- ★★みじん唐草小皿 5枚組
- ★★伊万里輪茶碗・そば猪口
- ★★明治平戸染付鉢 5個組
- ★★大正色絵向付・猪口
- ★明治・大正印判各種
- ★★大正色絵向付け・皿各種



アンティーク

- ★★アンティーク額各種
- ★★フランス製オイルランプ
- ★★昭和ガラス窓
- ★★明治乳白ガラスシェード
- ★★仏製照明スタンド各種
- ★★額絵・ポスター各種
- ★★戦前照明スタンド

古民芸

- ★★御簾 一対
- ★★大正時代鏡台
- ★★漆お椀・茶托・御膳
- ★★明治道具箱・樽など
- ★★糸巻き・大小
- ★作業台各種 ★行灯
- ★明治衣装盆

